



今月のもくじ

重要

くららから利用者の皆様に
重要なお知らせ。

登録団体の
お知らせ

登録 NO.169 栃木障害者の自立をめざす会

登録 NO.258 NPO 法人障がい者の一人暮らしを考える会
からののお知らせです。

くらら
スタッフの
インタビュー

登録 NO.13 NPO 法人栃木おやこ劇場に
インタビューしました！

【重要】くらの移転について

とちぎ市民活動推進センターくらはは、令和3年4月1日（木）から、キョクトウとちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）の館内へ移転する予定です。

○令和3年4月1日から変わる点

住所：〒328-0016 栃木市入舟町6-8

印刷機等の利用：交流センターが貸し出す印刷機を利用させていただくため、受付は交流センターの事務所にお願い致します。料金は今と変わりません。

○今まで通り変わらない点

開館時間：10:00～21:00（日曜・祝日は10:00～17:00）

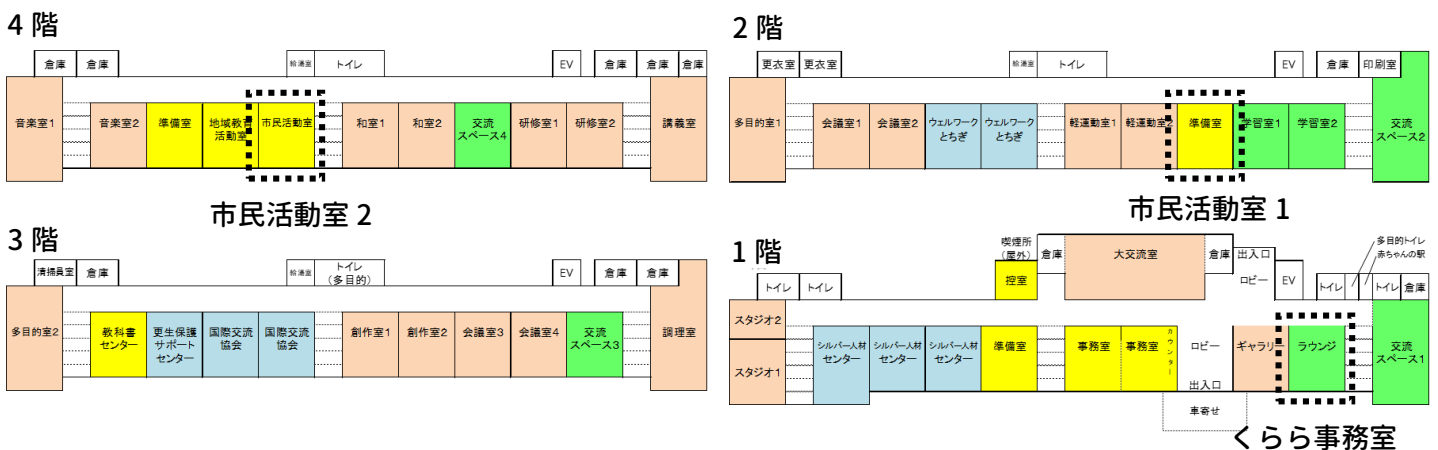
休館日：毎週水曜・年末年始（12月29日～1月3日）

連絡先：TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132 メール kurara-tochigi@cc9.ne.jp

貸部屋数：2部屋（それぞれ20人程度利用可能）

部屋の利用料：無料

※移転準備のため、令和3年3月10日（水）から3月31日（水）までくらをを休館させていただきます。休館中も部屋の貸出は行いますが、3月10日以降は交流センターのお部屋をお使いいただきます。ご予約はくらは（0282-20-7131）へお申込みください。ご迷惑おかけしますが、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。



冬のコロナ対策と飲食について

換気しながら温度調節を！

これからどんどん気温が下がってきますので、風邪をひかないよう、暖房をお使いください。
（室温 18℃以上が目安）1時間に1回5分程度は換気を行うようお願い致します。

距離を保っての飲食

対面での飲食や会話を回避し、最低1mの間隔をあけられる場合は飲食可能です。



登録団体のお知らせ



登録 NO.169 栃木障害者の自立をめざす会 車椅子ダンス教室 参加者募集

車椅子ダンスを一緒に楽しみませんか？

日にち：12月13日（日） / 1月17日（日） / 2月7日（日）

時間：13：30～15：30

場所：栃木市大平健康福祉センター ゆうゆうプラザ多目的ホール

参加費：無料 持ち物：うわばき

講師：NPO 法人全日本車椅子ダンス協会 高根澤利夫氏 高根澤雅子氏

申込み・問合せ先：栃木障害者の自立をめざす会 事務局

〒328-0075 栃木市箱森町 51-41 TEL 0282-51-2178

FAX 0282-51-6548 E-mail info@mezasu-kai.com

主催：栃木障害者の自立をめざす会

第22回
全国障害者スポーツ大会
「いちご一会とちぎ大会」
のオープン競技に
「車椅子ダンス」が
決定しました！

申込みの際にお名前、
ご住所、電話番号、年齢
をお伝えください。

登録 NO.258 NPO 法人障がい者の一人暮らしを考える会 障害福祉と支援のシンポジウム パネリスト募集

イベントで登壇してお話しして下さる当事者の方を募集しています。

昨今、障がい者の福祉サービスは充実してきましたが、その背景には、当事者（障がい者）と健常者が共に行ってきた啓発活動が存在します。令和3年11月に開催予定のシンポジウムでは、市内の福祉事業所の利用者・支援者・保護者から、生の声を取り上げ、それぞれの楽しいことやつらいこと、支援の面の問題、要望等を発信します。

対象：栃木市の福祉事業に関わる方で主に知的障害のある方
(支援者と保護者の方も一緒にご参加ください)

シンポジウム開催予定日：令和3年11月（栃木市内で開催予定）

パネリスト事前打ち合わせ日時：令和3年4月14日（水） 13：30～16：00

コーディネーター：菊地月香氏（社会福祉法人 同愛会 障害者支援施設光輝舎 施設長）

募集人数：6人 申込締切：定員になり次第終了

申込み・問合せ先：NPO 法人障がい者の一人暮らしを考える会

TEL 090-7701-3130（18時以降） メール kappa1@cc9.ne.jp

主催：NPO 法人障がい者の一人暮らしを考える会 共催：NPO 法人おひさまクラブ

魅力をお届けし隊!!

登録団体さんにインタビュー



このコーナーでは読者の皆さんに登録団体さんの活動内容やその魅力をお届けしていきたく思います！第一回目の今回は NPO 法人栃木おやこ劇場さんにインタビューをさせていただきました。



『全ての子どもたちに文化・芸術の機会を』

栃木おやこ劇場の主な活動の一つに舞台鑑賞があります。今回のインタビューで、人間が人間らしく幸福を追求するためには、衣食住だけでなく文化・芸術が必要であること。そして、栃木おやこ劇場は全ての子どもたちが文化・芸術によって心が動く機会を平等に得られることを目指しているとお話して頂きました。

『地域で中高生の居場所を』

昨年、事務所が水害に遭い、今年の6月に新事務所がオープンした栃木おやこ劇場さん。そこで事務所移転に伴い、新たに始まった「蔵の街自習室」についてお話を伺いました。蔵の街自習室は栃木おやこ劇場さん長年の願いである「ただの事務所ではなく、人々が集う居場所づくり」をもとに始まった活動です。特に中高生の放課後に着目し、自習室を通して中高生が交流・団欒できる居場所づくりをされています。



『読者の皆さんへ一言メッセージをお願いします』

温かいホッとできる居場所を目指しているので、中高生も親御さんも気軽に利用してください。お茶を飲みながら一緒にお話ししましょう。

